

□連載小説 14

キリシタンの墓

小山 牧子

え・石 阪 春 生

迷路 (3)

あらすじ 二年前短期大学を卒業した佳は、母親蘭子との生活に息づまりを感じ、米國系海運会社のエージェントに勤めに出ることにした。ある夜ボスのヒギンズ氏とともに訪れた願成寺の墓地のくらがりで村重船長と呼ばれる老人に会い、佳はこの老人の部屋で褐色に色をかえた若い頃の自分の父、村林裕作の写真を発見する。動転した佳は、母蘭子からかくされた自分の知らない秘密をさぐりだそうと思い、ひそかに父の部屋にしのびこむ。

ノックの音と共に佳の部屋に入ってきた蘭子の、頭のとっぺんから白足袋をはいた足の前まで、十二分に神経をゆきとどかせた洪好みの外出着姿を見て、佳の胸は、踊りあがらんばかりにわくついた。と、案の定、蘭子は少しソブラノ気味の緊張した声でいう。

「出掛けるわ、ケイ。今夜は少し遅くなるかもしれないけど……」

「いいわよ、ママ。食事は、自分で好きなものを作って勝手に食べるから」

佳は、蘭子の盛装をうさん臭げにためまわしたり、不機嫌な答えを返すといったいつもの習慣を忘れ、いそいそと見送りに立った。この日、この瞬間を、千秋のおもいで佳は待っていたのだ。

むんむんと繁茂する桧葉垣の繁みのかげに姿を消す前

の一時、蘭子は、窓から身を乗りだして見送る娘を振りかえり、手をあげてみせ、佳もまた上機嫌でそれに答えた。

蘭子の姿が視界から完全に消え去ったあとと佳は、華やくだ雰囲気をもつ蘭子の風姿に、一沫、暗いかげりが刻まれていたことに強く心を残した。振りかえったときに娘の方にむけた意味のない微笑は、その姿が視界から消えると同時に、佳の盲膜にとどまることなく完璧なまでにぬぐい去られる。が、かすかながら宿る淋しげなかげりだけは、残像となって、佳の脳裏に焼きつき、いつまでも消えない。

——なぜだろう。新しい歌ができたあと、いつもいそいそと歌仲間のところへ出掛けてゆくのが、ママの習性だのに、なぜあんなふうに、どこが陰気なのだろう——

佳は、四日前、父の部屋に忍びこんだ夜ふけ、そこでとり交わした蘭子との会話を反芻してみた。

書棚の下にある鍵のかかる抽出しを何度もがたびしいわせ、あげくの果て尖った細い金具などを差しこみ、一応、深夜、無人の事務室に忍びこんだコソ泥がやるだろうと考えられることどもを、いつて無器用に試み、どれもラチがあかぬまま疲れ困憊したあと、その抽出しを最

近だれかがかきまわした形跡のあることを発見し、まず最初、「その犯人を母の蘭子であらうと推理したそのとき、背後で人の気配がしたのである。振りかえると、予想したとおり、当の蘭子がドアのかげに立っていた。」

「ケイ、一体どうしたというの？　こんなに遅く……」

狼狽しながらも佳は

「眠れないだもの。英語の勉強でもしようと思って辞書を探しているの」

「辞書？　辞書なら、佳が持っている方が新しくて重宝なはずよ……」

「だって、わたし辞書のたぐいは、全部、事務所に持っていてあるの。会社の仕事で必要なんだもの」

「そう……」

ぬけぬけとした嘘をつく佳に疑わしげな視線をむける蘭子であったが、それ以上にとがめることはできない。

父とはいえ、他人の部屋に忍びこんでいるところを蘭

子に見られ、ひとときは狼狽した佳であったが、いきあたりばつりにしゃべって聞かせた嘘の言葉が、奇妙にも心を安定させる役割を果たした。で、体制をたてなおした佳は、部屋の真中から真直に蘭子を見つめ、意地悪く言葉を尖らせたのである。

「パパの留守の間、ロクにお掃除をしてあげたこともないママでも、だれかがパパの部屋に侵入したとなると、やはり気になるらしいのねえ」

鋭い佳の舌峰の前に着ざめている蘭子には、常の蘭子らしい豊かさはない。

この時間の蘭子は、眠るにまだ早く、きつとあの密室の部屋の中で、白い紙に大きな字で、言葉を書きつけては破りすて、破りすてはまた書くというむなしい作業を続けているはずである。そんなとき蘭子の顔は、まったく見られたものではない。蒼白な顔と、眉間に刻まれた刃傷のように深い一本の皺。唇は乾ききり、目だけを

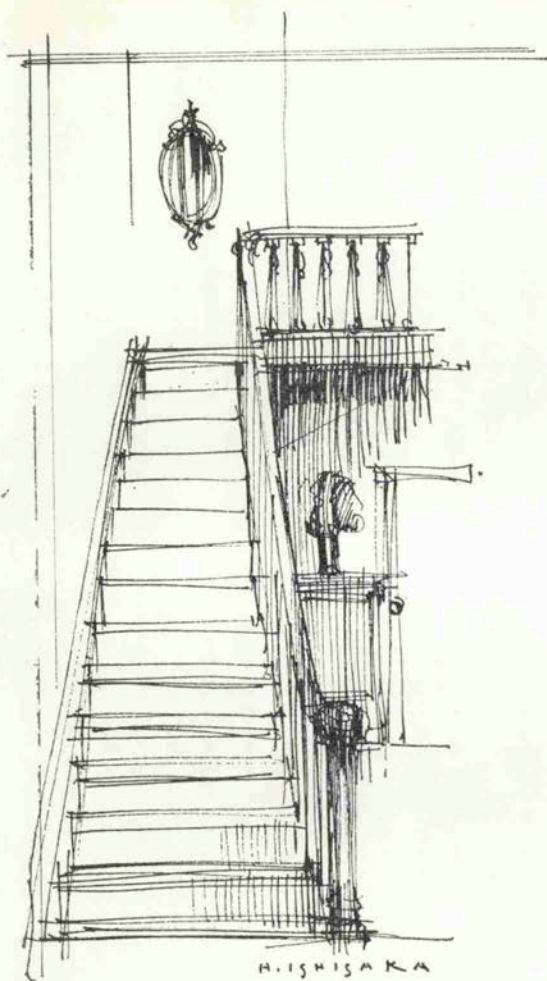


ランランと光らせているのだ。

たとえ抽象的なものであったとしても、いや、抽象的なものにかかわる女であるからこそ、その種の何かを生みだしている女たちは、同じ作業をしている最中の男たち以上に醜悪な面相になる。獐犢な顔で心の両肢ふんばってウンウンとうめき、中には、あられもなく咆哮する牝郎どももいるに違いない。ともかく、胎児を生みおとすのと同じほどの悲愴感を身辺にみなぎらせながら、蘭子のような女は、いたって生理的に、短歌の創作という作業をやらかすのである。

深夜、父の部屋で出会ったときの蘭子は、常々の蘭子独得の言葉をかりていうならば、地上に存在する最も崇高な行為であるその創作なる仕事を終えたあどだったのだろう。蘭子の顔には、産褥にある女たちに共通の疲労の色と虚脱感がありありとうかがえ、目のふちには褐色のクマまで作っている。

長年、蘭子の自我の強い生きざまな鼻つきあわせて暮



らしてきた佳には、その夜の蘭子の顔つきから、蘭子が最も貧弱な卵を生みおとすメンドリさながら、一篇の短歌を創造したのであらうことがうかがえた。が、苦痛にたえながら、その身にふさわしい卵を生みおとしたあと、真紅のトサカを振りたて、高らかに鳴きたてるあのメンドリさえももっている生むことへの誇りは、その夜の蘭子の表情にはなかった。いつも蘭子ならば、そんなふうに苦しみ、一篇の作品を生みだすと、早速、深夜であることもお構いなしに、歌仲間を電話で呼びだし、新作を披露する。それは、蘭子にとっては、ちょうど卵を生んだあとのメンドリが鳴きさわぐのに匹敵する行為なのである。

それに今度の場合、蘭子のスランブは長かった。脇坂紫峰なきあと、蘭子が属する短歌グループの若手の発言が活発になり、彼等の理論に引きずられて、グループ自体が新しい歌の時代を創りだそうとしているとき、師を失い浪漫的な抒情を唯一の武器にする蘭子の古さは若い

★新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

＜6月号予告＞

☆特集 現代の住宅

プレハブ住宅の豊かな居住感をさぐる。

☆座談会 三村浩史

片岡益也

ガイド プレハブ住宅展示場一覧

レポート プレハブに住まって

インタビュー プレハブ住宅のチェックポイント

☆現代をリードする企業

ウシオ工業 牛尾吉朗

☆連載対談 中村雁治郎 大鋸時生

☆京の宿 俵屋 邦光史郎

☆商売の最前線 あり善 亀井達次郎

創作 仲谷和也

連載小説 猿飛佐助

神坂次郎

☆グラビア 競艶夏姿 温桃猿股

テレビ新人ホットパンツ競演

関西の洋画家 7人

And his Ladies 朝比奈 隆

表紙 池田遥郎

カット 河野通紀

☆オール関西編集部

大阪市北区曾根崎一丁目三〇

八千代会館三階 06-313-2635・0588

書手たちの恰好の攻撃目標になった。蘭子は、四囲を厚い壁にはばまれ、手も足も出ずうずくまっていたのだ。その厚い壁を打ちやぶるための才も力も、いまの自分にはないと、絶望的にさえなっていた蘭子ではないか。

その蘭子が、再び歌うことができた。四囲をとりまく厚い壁を、みずから手で打ちやぶり、蘭子は再び歌をとりもどしたのだ。常の蘭子ならば、こんなとき、たとえ疲労と虚脱のきわみにあつたとしても、あのメンドリたちの無心さそのままに、高らかに勝どきの声をあげるはずではないか。が、その夜の蘭子は違っていた。裕作の居室からかすかに伝わる人の気配に、素足のまま足音を殺して階段を登り、広間を横切り、たどりついた部屋で何かを懸命に探しまわる娘の姿をみると、愕然と蒼ざめ立ちすくむ。佳は、むきあつて見すえた蘭子の顔に、いつもの創作の作業を終えたあとの満足した表情とは違

う、満足しきれぬあるものを見たとおもった。

——なぜだ？なぜママは、蒼ざめているのだ？

なぜ震

えているのだ？——蘭子は、その夜、佳の強い目に見すえられると、怯えたように身をさけ、いつも一席やるような自信にみちた母親らしい言葉を吐いたら説教の一言も残さず、裕作の部屋の前から姿を消し、自室に帰った。

広間を踏んでゆく奇妙に頼りなげな足音を聞きながら、佳は頭の片隅で、蘭子の足が踏んでゆく跡を追った。その足跡をたどる先に、蘭子の部屋がある。

裕作の部屋に失望した佳は、その先にある蘭子の部屋にこそ、あの何者かによって掻きまわされた閉じた抽出の鍵、というよりも、佳が追求して止まぬある人間の真相がかくされているに違いないとおもった。

で、佳は、まったく千秋のおもいで、蘭子の外出の日を待っていたのである。

一人になった佳の脳裏から、華やいだ風姿をもつ蘭子のかげりの部分の残像がいつまでも消えない。佳の蘭子を追求してゆく目は、いつか外科医のように冷徹なものになっていった。あのかげりは、深夜、父の部屋でむきあつた蘭子の上にも濃く垂れこめていたものだった。そう察したとき、佳の胸のうちで推理とか仮設程度のあやふやな存在であったものが、はつきりとした確信へと固まってゆくのである。と、同時に複雑にからみあい曖昧模糊としていた迷路の中の一本の道だけが、白い光芒を放ちながら浮きあがってきた。蘭子の部屋にこそ、探し求めているものがある。佳は、魂をうばわれたもののよう

（つづく）

— オリジナル **L** サイズ —
— 草履新発売 —

創業明治二十八年
履物の山下
古い老舗に新しいセンス

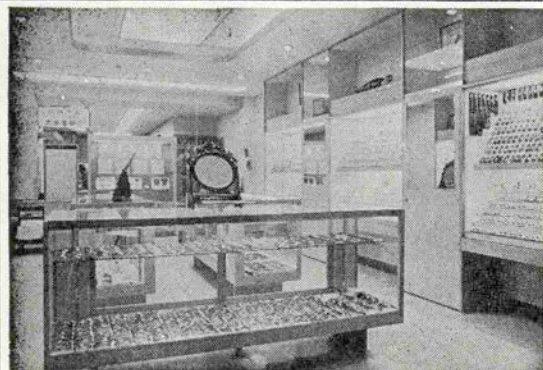
確実正札 完全冷暖房
静かに品選びの出来る店
神戸三宮センター街 TEL (39) 0256



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町4丁目 TEL 34 7290



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田 鼈甲店

元町1丁目 TEL 33 6195



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

Kent shop
フナキヤ

元町3 TEL 32 0356

おすし
てんぷら



栄
彌

本店 大丸前・三宮神社東

TEL 33 55772

56734

(毎週水曜日休み)

支店

さんちか味ののれん街

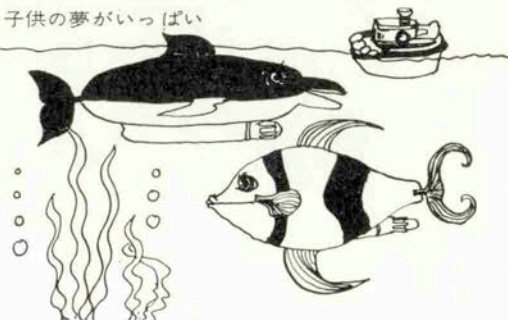
TEL 33 5233

(第3水曜日休み)

営業時間

A.M.11.30~P.M.9.00

子供の夢がいっぱい

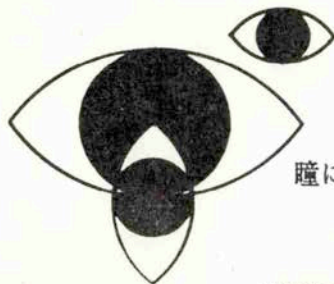


おもちゃの

カメヤ



三宮方面でのお買物は……
さんちか店 ファミリータウン 33 4045
三宮店 センター街大洋劇場東隣 33 4969
元町方面でのお買物は……
元町店 元町通3丁目山側 33 0090
パンプウ店 元町通1丁目不二家前 33 0768



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市灘合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570

高級紳士服専門店

神戸テラー



さんちかメンズタウン TEL 33 0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL 33 2817・3173



酒徒なれば
だれもが選ぶ
灘の生一本
大黒正宗

清酒 大黒正宗

安福又四郎商店醸

どなかつ

やっぱりうまい
むさしのとんかつ

コベ三宮
ムサシ

でんわ・33-3377
32-3210
32-3210
32-3210
32-3210



スタンド

香 桑

桑畑房子

リラックスした
ひとときを……

コウベビル地下
TEL 33-6763



北海道特産のヒモノの味が楽しめる店

スナック ドナドナ

下山手通1丁目5 セウスタウンビル地下
TEL 39-1200

居酒屋

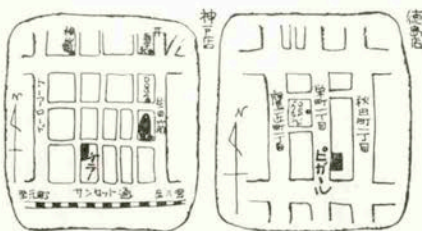
ケラー

神戸市生田区北長狭通2丁目
金剛山西入る (078) 39-1590



★居酒屋ケラーは、生田筋金剛山を西に150m南側にあるお店。ランタンのともるドアをあけると15人ぐらいがかけられるスタンドの奥から安福敏之さんこと安つさんがあいそがいい笑顔で「いらっしゃい」と迎えてくれる。

この七月で三周年を迎えるケラーは、この安つさんの気さくな人柄にひかれてくるごひいきも多く、また鳥専門のカラアゲや焼鳥、ピカタなどをサカナにのめるのでんてよし、たべてよし、雰囲気もよしと三拍子そろっている。奥には世界のミニチュアが400本もあつめてあってこのミニ・コーナーでは、月曜日向田俊博、奥田大二郎さんのフラメンコギターが午後7時～10時30分までできる。安さんの他に三人のバーテンさんと女の子も気兼ねにしゃべれる人たちで、スタッフもよく揃っている。手造りの鎌倉など安つさんの作品がドイツ風にインテリアに暖みを加えている。ビール(200円) オールド水割り(350円)。午後6時～12時まで。

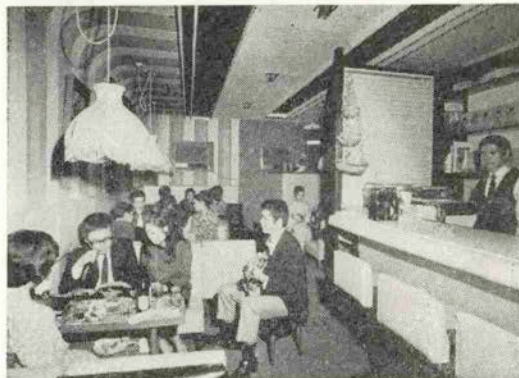


DRINKING

クラブ

ジャルダン

生田区中山手通1丁目111
T E L 33-8589



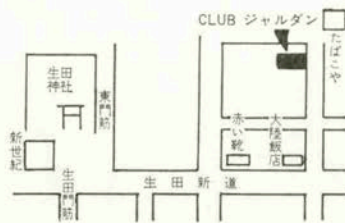
★6月の神戸はフラワーに始まり、神戸の夜は「ジャルダン」で憩いが始まる。三宮生田新道の大粒飯店を北に上がると左手、トントンと階段を昇りつめるとクラブ「ジャルダン」の花園が待っている。

カウンターで粋なバーテンさんを相手にするもよし、ボックスで気楽にグラスを傾けるもよし、またギターに合わせて歌うもよし、日頃のウサもふっされる楽しい花園だ。きれいな花に囲まれて飲む酒も酔いを誘う。

マスターの岩戸秀能さんことガンちゃんのキップの良さが店に反映して、さわやかなクラブとなっている。

神戸を訪れる人の多い昨今、さあこんなクラブが神戸にもあるのですと気楽に誘い連れてこれる安心な店だ。ガンちゃんと親しくなるほどに店の良さが分るというから、得なマスターである。

午後6時から12時まで。



曲線ハイウェイ

武田 繁太郎
え・横 塚 繁

横井は、カンのいい男だった。多木が、二人の娘のうち、ミニ姿の辰馬英子のほうに好感を抱いたことを、彼は、すばやく察したらしかった。

ひとしきり、にぎやかに呑んだところで、岡本がまたルミを連れてフロアにでていくと、横井は、さりげなさそうに、石丸圭子というパンタロン姿のほうに、「踊ろうか」

と、誘いかけ、彼もまた、石丸圭子の腕をとって、岡本たちのあとを追った。

これはあきらかに、多木と辰馬英子を二人だけにしておいてやろうという、横井の思惑にちがいはなかった。

だが、多木は、辰馬英子と二人きりになると、かえって、二人きりになったことで、妙な気づまりをおぼえた。いったい、こういう気の使い方をする横井の本意は、どこにあったのか。

遊び好きの女の子を電話でよびだし、多木にひきあわせうえて、

「あとは、あなたの腕しだいですよ」

と、横井は言っているのだろうか。

この辰馬英子を、東京の、赤坂や六本木あたりを野良猫のようにうろついている短大生やB Gたちと、おなじように扱ってもいいか。

★あらずし 浜名湖サービスエリアで、多木洋介は若い神戸の女性、宇津康子と知り合い、一夜を過ごした。その後も、十日か半月おきにデイトの電話をかけてくる康子と、多木はMVハードトップを駆って逢瀬を重ねた。康子の正体を知るため、多木は神戸出身の友達、岡本和彦とその女友達ルミと共に神戸へやって来た。康子の居所を見出せぬ多木の前に彼女の面影に似た辰馬英子が現われた。

それとも、今夜の欲待に花をそえるという意味あいだけで、若い娘たちをよんだというのだろうか。

多木には、そのどちらともわからなかった。横井の肚のうちが読みきれなかった。そういう不確かさが、いっそう彼を気づまりにしていた。

辰馬英子が、なまじ宇津康子と似たタイプだったことが、結果としてはまずかった。多木の気持ちをいらだたせていた。辰馬英子が宇津康子とまったく違ったタイプの娘だったら、彼はもっと虚心にふるまえたかも知れなかった。

多木は、英子と二人きりになっても、しばらくは、話しかけもせず、ただ意味もなく煙草を吹かしたり、ビールを呑んだり、独り勝手にふるまっていた。野暮な話であった。

だが、英子のほうは、多木の気持ちを知ってか知らず



か、なんのこだわりもみせなかった。多木のコップがカラになったのをみて、

「どうぞ」

と、英子は、かげりのない、明るい笑顔で酌をしてきた。「やあ、どうも」

と、多木も、釣りこまれたように微笑をかえしていた。企まずして、多木の気分をいくらかでもほぐしてくれた結果になった。これ以上の沈黙は、多木の気持ちのほうに許さなくなった。

「辰馬さんは生粋の神戸っ子だとおっしゃってたけど、ご

両親も、やっぱり、この土地の方ですか」

多木はたずねてみた。両親が地元の人間なら、この娘はまず正真正銘の地元っ子だといえる。英子はうなづいた。

「生れた兵庫のほうなんですけど、戦前からずっと、会下山というところに住んでいるんです。あたしも、そこで生れました」

「会下山って、神戸のどの辺ですか」

「そうね。神戸のちょうど真ん中あたりにある、低い裏山なんです。むかし、湊川の合戦で、楠正成が討死したのが、会下山のあたりだといわれていますわ」

「なるほど。ふるい歴史のある山なんだな。でも、お宅は、戦前からっていうと、戦争中の空襲で焼けなかった？ 神戸はほとんどやられたんでしょう」

「ええ。なんでも、父の話では、あのとき、会下山一帯も、周囲を火にかこまれ、火の輪がだんだん縮まってきて、一時は、もう駄目だと、父も観念したそうです。父は二階の物干場にて、焼夷弾がおちてくるのを監視してたそうだけど、そりゃ、すごい眺めだったといってたわ。焼夷弾って、飛行機から束になっておちてきて、空中でぱっと火花のようにはじけるんですって。そういう火花が、真っ暗な夜空につきつきとはじけて、まるでカラー映画で両国の花火大会をみているように壮観だったそうです。でも、火の勢いって、生きてるみたいにこわいものなのね。広い道路でも、火の手が真っ赤な舌のように地面を舐めて、どっと反対側の建物に燃え移るんですって。父はもう無我夢中で、夜が明けてから、やっと、自分の家のあたりが焼け残っていたことに気づいたなんていってましたわ」

英子は、興に乗ったように語った。

多木は、はるばる神戸までやってきて、地元の若い娘から空襲の話をきかされようとは、思ってもみないことだった。だが、彼は興味ありそうな顔で、黙ってきいていた。これもまた、旅にでて、その町をたずねなければ

ば、きかれぬ話にちがいがなかった。

「そうだわ。父の話で思いだした、おもしろい話があるわ」

英子は、ジンフィーズを吞みながら、また話をつづけた。

「それは、空襲もすんで、ちょうど八月十五日の敗戦の日のことなんです。夕方、父は、戦争に負けてしまって、町のなかがどうなっているか。様子を見にでかけたんですって。市電なんか焼けてしまって、もちろん、とおってないし、会下山から、焼け跡の道を歩いて、東のほうの三宮までかけていったんだそうです。途中、新開地、楠公前、元町と、どの道筋にも、人がいっぱいあ



ふれていたけど、みんな、敗戦のショックで虚脱したみたいになり、人の群れが、まるで長い長い葬式のように流れていたそうです。どの顔も、すすけたようにやつれきって、うす汚れた国民服やモンペ姿で、父は、その人波にもままれながら、つくづく敗戦国民のみじめさを味あわさされたと言っていました」

この娘は、なにを語ってきかせようというのか。多木は、そんな興味を抱かせられた。英子は言葉をついだ。

「父は、元町の通りから、国電の、当時は省線っていったんですってね。その省線の元町駅にて、高架下を三宮駅のほうへいったんです。そして、三宮駅のすぐちかくのガード下まできたとき、ふといコンクリートの柱のかげに、黒いシナ服をきた六十ぐらいの小柄なおばあさんが、なにかふくらんだ風呂敷き包みを両腕にかくすようにして立っていたんですって。そのシナ服のおばあさんは、しわだらけの顔で、ガード下を往き交う人の波に、なんとなく無言の呼びかけをしているように、チラチラと素早い視線を投げかけているんです。おばあさんは、いったい、なにをしていたとお思になる？」

英子は、聞き手の多木の反応をためすようにたずねた。多木は正直に首をふった。

「わからんな」

「むろん、父もわからず、すこしはなれてみていたんですって。すると、まもなく、人波のなかから、工具風の中年の男が、あたりの気配をうかがうようにして、おばあさんのまえにちかづき、二人は顔をよせて、なにかささやきあっていたそうだけど、やがて、中年の男はポケットからおカネをとりだし、おばあさんは風呂敷き包みからなにやらとりだした。それを見て、父は思わず目をみはったそうです。おばあさんがとりだしたのは、油であげた、おいしそうなシナ饅頭だったんです」

「なるほど。闇の商売をやっていたんだな」

「そうなのよ。中年の男が立ち去ると、こんどは若い男があらわれ、つづいて、三、四人の男がおばあさんをと

〈神戸の催し物 6月ご案内〉

〈音楽〉

★カーニバル・イン・リオ

6月3日(木) P.M.6:00~9:00開演 神戸国際会館
入場料 S2,000 A1,500 B800

★ビリーボン楽団

6月7日(月) P.M.6:30開演 神戸国際会館

入場料 A ¥2500 B ¥2200 C ¥1800

〈曲目〉 浪路はるかに、峠の幌馬車、星をもとめて、真珠貝の歌、恋は水色、慕情、モア、知りたくないの他

★ザビアクガート楽団

6月15日(火) P.M.6:30~9:00開演 神戸国際会館

入場料 S2,300 A1,700 B1,500 C1,200 D900

★鉄砲光三郎ショー

6月16日(水) P.M.2:00~4:00開演 神戸国際会館
7:00~9:00

会員券 650円

★エクトルバレラタンゴ楽団

6月21日(月) P.M.6:30~8:30開演 神戸国際会館 民音
会員券 850円

★ポピュラー名曲の夕 大阪フィルハーモニー交響楽団

6月23日(水) P.M.6:30開演 神戸国際会館 労音

会費 1000円

指揮 外山雄三

プログラム——フィンランディア・モルダウ、ハンガリー舞曲 No.5.6 スラブ舞曲、ハンガリー田園幻想曲、大序曲 1812年他

★NHK 公開放送「あなたのメロディ」

6月24、25日 P.M.6:00~9:00開演 神戸国際会館

★ベッティ&クリスと共に

6月29日(火) P.M.6:30開演 神戸国際会館 労音
会費 980円

出演——ベッティ&クリス フォークギター 石川鷹彦
ベース 吉田勝宣、特別出演 地元フォーク・グループ

★ペルリオーズ幻想交響曲

6月30日(水) P.M.7:00~9:00開演 神戸国際会館

会員券 750円

〈演劇〉

★ターニヤ

6月13、14、15日 P.M.6:15開演(13日のみ P.M.1:15開演) 神戸海員会館 劇団四紀会第17回公演

前売券/一般 450円、高校生以下 350円

作・脚本・演出 アルプス・ゾフ 訳 芦川嘉久子 演出 北島三郎

★民芸公演「神の代理人」

6月17、18、19日 P.M.6:15~9:00開演 神戸国際会館 労演
会員券 650円

ホー・ホーフト 作 渡辺浩子 演出

出演——滝沢修、清水将夫、大滝秀治、下条正己、佐野浅夫、垂水悟郎他

〈舞踊〉

★神戸創作舞踊の会第1回公演「炎の詩」

6月6日(日) P.M.1:00、6:00開演 神戸国際会館

入場料 A ¥2000 B ¥1000

作・演出 岡田美代 作詩 安水絵和 作曲 中村茂隆

装置 板矢真紀 衣裳 藤本ハルミ

出演——上月倫子 花柳芳史 花柳芳恵子 今岡頌子

〈美術〉

★エミリオ・グレコ名作展

5月29日~6月27日 県立近代美術館

入場料 大人 350円、学年 250円、小・中学年 100円

A.M.9:30~P.M.5:00(但し入場は4:30)まで会期中無休

「そうね。父もね、そのシナ服のおばあさんのたくまし
「そうすると、戦後全国に出現したっていう闇市の輝か
しいパイオニアは、そのシナ饅頭売りのおばあさんだっ
たというわけだな。おそらく敗戦五、六時間後のその時
点で、街頭で闇商売をやっていたのは、全国でも、その
おばあさんただ一人だったろうな」
「そうね。父もね、そのシナ服のおばあさんのたくまし

「なるほどね。八月十五日の夕方って言えば、日本が敗
れてから五、六時間しかたっていないなかったわけだな」
「そういうことになるわね。ところがね、父が翌日もい
つてみると、驚いたことに、おばあさんのそばに、もう
四、五人のおなじような仲間が立っていたのよ。その翌
日には、四、五人が十人ほどにふえ、その翌日には、ま
た倍ぐらいいにふえて、またたくまに、三宮駅から元町
駅、神戸駅あたりまでのガード下に、えんえんと闇市が
のびていったの」
「そうすると、戦後全国に出現したっていう闇市の輝か
しいパイオニアは、そのシナ饅頭売りのおばあさんだっ
たというわけだな。おそらく敗戦五、六時間後のその時
点で、街頭で闇商売をやっていたのは、全国でも、その
おばあさんただ一人だったろうな」
「そうね。父もね、そのシナ服のおばあさんのたくまし

り囲み、たちまち、人垣がおばあさんの小柄な身体をか
くしてしまったそうです。なかには、おばあさんから買
った饅頭を、その場で、ガツガツと食りたべている人も
あったそうです。父はなんだか背筋がうす寒くなったと
いつてましたわ」
「なるほどね。八月十五日の夕方って言えば、日本が敗
れてから五、六時間しかたっていないなかったわけだな」
「そういうことになるわね。ところがね、父が翌日もい
つてみると、驚いたことに、おばあさんのそばに、もう
四、五人のおなじような仲間が立っていたのよ。その翌
日には、四、五人が十人ほどにふえ、その翌日には、ま
た倍ぐらいいにふえて、またたくまに、三宮駅から元町
駅、神戸駅あたりまでのガード下に、えんえんと闇市が
のびていったの」
「そうすると、戦後全国に出現したっていう闇市の輝か
しいパイオニアは、そのシナ饅頭売りのおばあさんだっ
たというわけだな。おそらく敗戦五、六時間後のその時
点で、街頭で闇商売をやっていたのは、全国でも、その
おばあさんただ一人だったろうな」
「そうね。父もね、そのシナ服のおばあさんのたくまし

い商魂には、圧倒された思いで、ああ、日本は敗れたん
だなあ、と、つくづく思い知らされたと言ったわ。で
もね、当時の闇市は、いまでも、三宮のガード下の商店
街になって、当時の名残りをとどめているわ」
話しあっているうちに、いつのまにか、二人は、言葉
までうちとけたものになるほど、馴染みあっていた。
多木は、この娘を見直す思いであった。この辰馬英子
という女のなかから、ようやく、宇津康子のイメージが
影を消していくようであった。
「当時の闇市の名残りが生きているという、その三の宮
の商店街をみたいものだなあ」
こんどは、多木が、英子の反応をためすようにたずね
ていた。
「辰馬さん。あす、時間ある？ あつたら、案内してほ
しいなあ」
多木は、一瞬、ひそかに息をひそめるようにして、辰
馬英子の返答を待った。

(つづく)

神戸のうまいもん&ドリンクキング

★日本料理

- 阿なご寿司 青 辰
神戸市生田区元町通3-184
TEL 33-3435
- 讃岐名代うどん あこや亭
神戸市葺合区旗塚通7-5 TEL 23-6300
トアロード店 TEL
- 和食 くれない
神戸市生田区中山手通1-1-111
TEL 33-0494
- かつぱう 古 紋
神戸市生田区花陽町45
TEL 34-0240
- 鍋もの・おむすび 悟 味 西
お茶漬・おぼろ 神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 33-3848
三宮さんちかタウン TEL 33-5319
- お茶漬・おむすび 里
鍋もの 神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 33-5535
- たこ焼 たちばな
三宮センター街(旧柳筋) TEL 33-0572
- 和風料理 楽 樹
神戸市生田区下山手通3丁目41
トアロード西筋淡路交差入 TEL 39-8649
- 料亭 大 し ま
葺合区熊内町6丁目39の6
TEL 22-1360・1945
- 割烹 喜 久 重
生田区元町通2丁目82
TEL 33-1915・39-3385

★西洋料理

- レストラン ア ポ ロ ン
ティーバーラー 神戸市葺合区八幡通5丁目6
TEL 25-3231
- レストラン 川〈あらかわ〉
神戸市生田区中山手2-9
TEL 22-8547・23-3315
- 純フランス料理 エ ス カ ル ゴ
神戸市生田区三宮町1-22
三宮センター街裏 TEL 33-5034
- メンバーズクラブ レストラン・コーヒョップ ルカ・カルトン
生田区北野町3-67-2
TEL 24-4321~4
- ステーキハウス れ ん が 亭
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 33-7168

- レストラン 男 爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 24-0778
- レストラン 花 屋 敷
三宮フラワーロード市役所前
TEL 25-2109
- 鉄板グリル き ゃ ん ど る
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 33-1183
- レストラン キングスアームス
神戸市葺合区磯辺通4-61
TEL 22-3774
- グリル ケ ー ン ズ
東店 生田東門筋 TEL 39-0159
西店 農芸会館西下ル TEL 39-3212
- レストラン シャトーブリアン
コーヒ 神戸市生田区北長狭通3丁目5番地
トアロードアーバンビル地階 TEL 33-2050
- レストラン&サバ サン・ジュリアン
神戸市生田区栄町2丁目11 阪神元町駅西口浜側
100米板荘地下 TEL (33) 9533
- グリル・鉄板焼 月
神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 33-2509
- レストラン テキサスターバン
神戸市葺合区八幡通5-95
神戸市役所前 TEL 22-7139
- イタリア料理 ドンナロイヤ
神戸市生田区明石町32
明海ビル地階 TEL 33-7158
- レストラン ハイウェイ
神戸市生田区下山手2-20
TEL 33-7622
- ピッツアハウス ピ ノ ッ キ オ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 33-3545
- レストラン フ ッ ク 東 店
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 32-3207
- ティー レストラン 那 寿
三宮トアロード
TEL 39-1873
- レストラン ミリオナークラブ
生田区山本通2丁目50の2
レストラン 23-9393~5
メンバーズ 22-1162

★喫茶

- フエータ ウエスタン ローストシティ
神戸市生田区三宮町3丁目22
TEL 33-3770
- 宮水 珈琲 にはむら珈琲店
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 22-1872・23-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 39-0669
- modern Jazz さ り げ な く
& Coffee 生田区北長狭2-22 TEL 33-9762
- カフェ・スポット サンフラワー
神戸市生田区・花時計地下
TEL 33-7794
- Cowboy Song C O W B O Y
Square Dance 阪急六甲駅南へ 200メートル
TEL 85-8229

★CLUB & BAR

- くらぶ 阿 以 子
神戸市生田区中山手2丁目89
TEL 33-6069
- c l u b 飛 鳥
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 33-7627
- c l u b S 〈エ ス〉
神戸市生田区下山手通2丁目6
TEL 33-2406・33-8993
- エドワーズ倶楽部
神戸市生田区北長狭通1丁目28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 39-3300
- c l u b 小 万
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 39-0638・4386
- c l u b さ ち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 33-7120
- クラブ ジ ャ ル ダ ン
神戸市生田区中山手通1丁目111
TEL 33-8589
- c l u b ル イ ス
神戸市生田区下山手通2丁目29
コーベビル地下 TEL 39-5065
- クラブ 鈴
生田区中山手1丁目111 TEL 33-2403

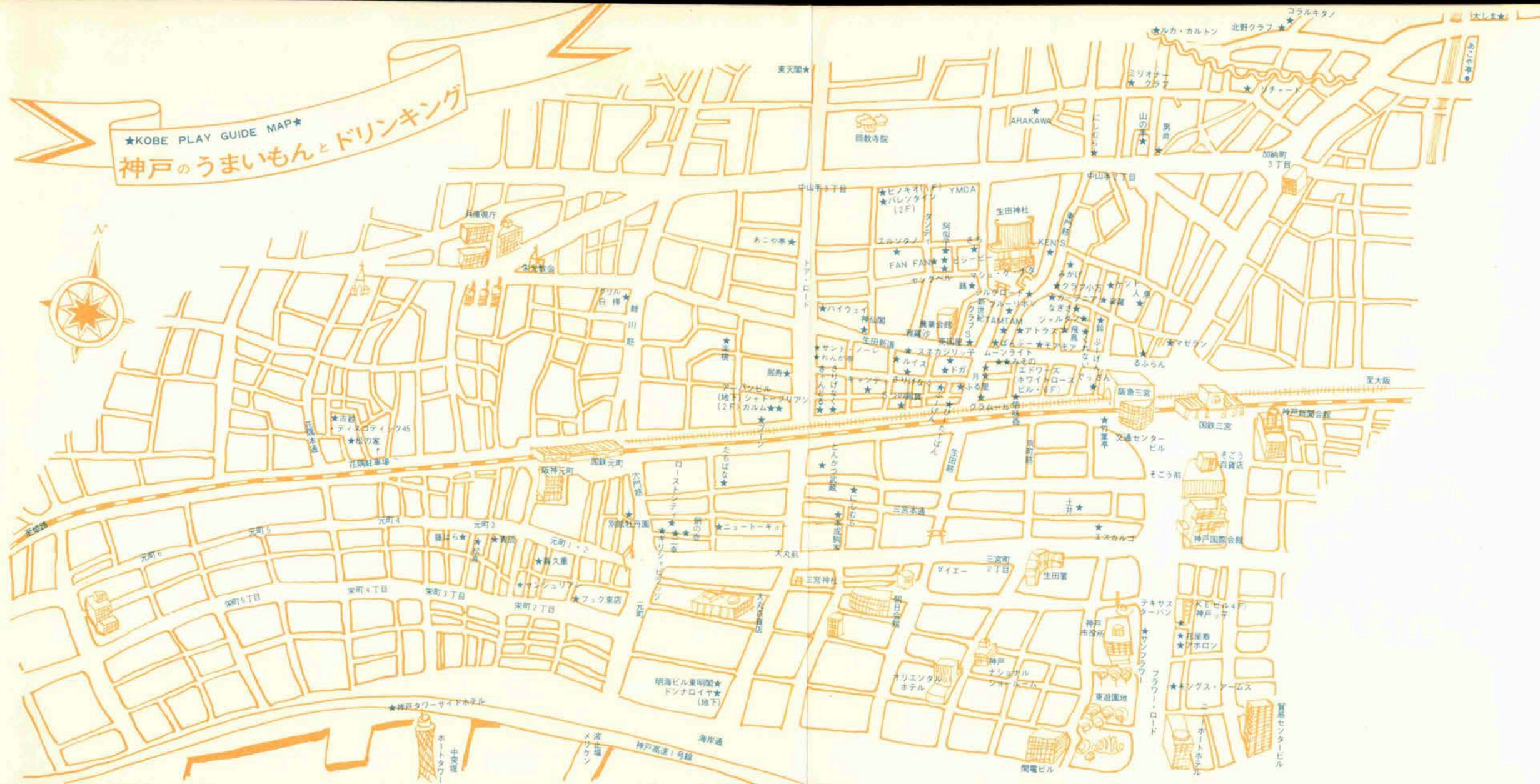
- c l u b な ぎ さ
神戸市生田区中山手通1丁目111 TEL 33-8626
- c l u b 蔭〈ふ き〉
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515
- くらぶ ぶ ー げ ん
神戸市生田区中山手通1-1-111
TEL 33-8593
- c l u b Moon Light
B A R 神戸市生田区北長狭通1丁目24
TEL 33-0886・39-2696
- クラブ る ふ ら ん
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 33-2854
- クラブ ヤ ン グ ベ ル
神戸市生田区中山手通2丁目89
光ビル1階 TEL 33-3052

★STAND & SNACK

- スタンド 英 国 屋
生田区下山手通2-6 相互タクシー横
TEL 33-1100 33-6600
- スナック エ ル ソ タ ノ
神戸市生田区下山手通 TEL 33-6620
- スタンド 人 魚
生田区中山手1-240 TEL 33-3756
- スタンド グ ラ ム ー ル
生田筋岸ビル地階 TEL 33-4637
- おとぎの国 ぴーたーぱん
神戸市生田区北長狭通2丁目1
金剛山南角 TEL 32-1380
- スナックバー リ チャ ード
神戸市生田区山本通1丁目9
小寺マンション1F TEL 24-3041
- スタンド さ り げ な く
生田区下山手通2丁目31
生田筋上高地西入る TEL 33-3714
- グラタン小屋 5 つ の 銅 貨
神戸市生田区北長狭通2-14
金剛山西入ル TEL 39-1438
- スナック ビ ジ ー ビ ー
神戸市生田区中山手2丁目
TEL 39-4582
- スタンド 京 子
生田区中山手1丁目91サッポロ西隣2F
TEL 33-6635
- スナック シ ル ク ロ ード
神戸市生田区生田神社前
ふじやビル2F TEL 33-1359

- 洋酒の店 キ ャ ン テ イ
神戸市生田区北長狭通2丁目3
TEL 39-3060・39-3010
- DRINK ス ネ カ ジ リ っ 子
SNACK 神戸市生田区下山手通2丁目
水鏡ビルB1 TEL 39-8708
- Stand&Snack サ ン ト ノ ー レ
ティー&ドリンク 生田区下山手通2丁目トア・ロード
TEL 39-3822
- 素 舌 洞 で っ さ ん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
三宮映画山入る TEL 33-6778
- S T A N D ア ト ラ ス
生田区中山手通1丁目95
TEL 33-5433
- ブレイスナック バ レ ン タ イ ン
神戸市生田区中山手通2丁目101
大津ビル2階 TEL 32-2967
- S T A N D F A N F A N
神戸市生田区下山手通2丁目29
TEL 39-1410
- night cap む ら か み
神戸市生田区加納町4丁目
但馬銀行北小路入 TEL 39-2616
- スタンド クラブ・ガーデニア
神戸市生田区中山手通1丁目115
東門筋中島ビル2F TEL 39-3329
- S N A C K 山 の 手
神戸市生田区中山手通1丁目
ソネビル1F TEL 22-3637
- スタンド ば ん ぶ ー
神戸市生田区下山手通1丁目6の5
東新ビル地階 TEL 39-8734
- 淳子の店 姿 (SARA) 羅
生田区中山手1丁目91
TEL 39-1647
- スナック ダ ン デ イ
神戸市生田区・農芸会館西筋上ル
天野ビル2F TEL 33-6450
- S N A C K マ ゼ ラ ン
B A R 神戸市生田区加納町4丁目1
TEL 39-2366
- s n a c k M O R E M O R E
神戸市生田区中山手通1丁目107
TEL 33-4728
- レストラン・バー 最 後 の 1 ド ル
神戸市生田区北長狭通1丁目
チエリービル3F
三宮生田新道山側 TEL 39-2173

★Kobe PLAY GUIDE MAP★
神戸のうまいもん＆ドリンキング



YATSUKA CHAIN

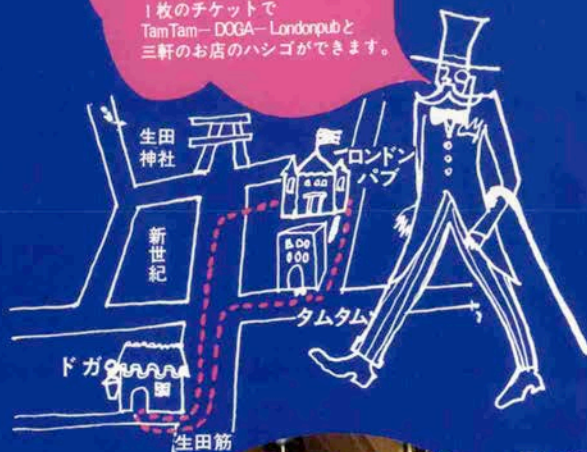


Snack Drink

DOGA

白樺のもとで語りあい、ムードも最高に楽しめるお店
生田神社南 ユーハイム横入る TEL 33-4560

ドガがお贈りする
ニューヨークシステム!
1枚のチケットで
Tam Tam - DOGA - Londonpubと
三軒のお店のハシゴができます。



Drink Stand

タムタム



古きヨーロッパ芸術の粋をあつめた格調あるインテリア
三宮東門筋東新ビル地階 TEL 33-9090



舶来居酒屋

ロンドン パブ



神戸で最初の本格的パブ方式の店。
東門筋ふじやビル1F TEL 32-0529

●串かつの店—
いち

☆ TEL34-1493
いち

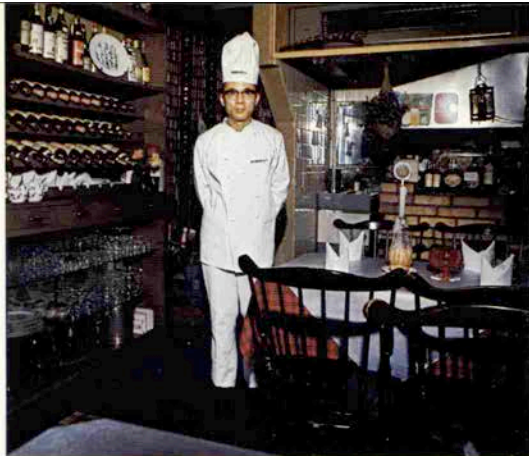
●純喫茶 スカーレット TEL35-1149

●カレーショップ ニュースカーレット

湊川神社前 菊水せんべいビル地階

湊川神社前 菊水せんべいビル1F

メトロコウベ地下街 TEL34-7920



HOOK フック 東店

神戸市生田区栄町 1-5-3 TEL (078) 32-3207~8



DRINK & SNACK
スネカジリ子

中山手通2丁目13
永晃ビル地下
TEL 39-8708

KOBE DRINKING GUIDE



こあべつ

阪急三宮駅
西口構内
TEL. 39-0770



club

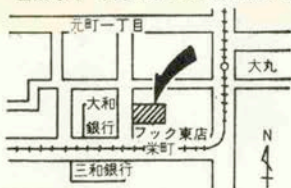
ルイス

生田区下山手通2-29
コウベビル地下
TEL 39-5065

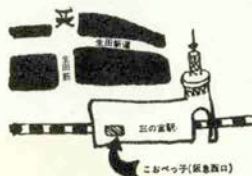


★初夏の息吹を感じさせる神戸の街に、瀬戸内海の潮風によって各国の色とりどりの観光船が入港し、栄町通りは日焼けした国際色豊かな人達で一段とにぎわう。その中でも栄町通り二丁目の大和銀行を北に入った右にある、レストラン“フック東店”はステーキの味に故郷を偲ぶエトランゼや、味に目のない神戸っ子たちでいつもいっぱい。ヨーロッパムードの溢れる落ち着いたインテリアは、おいしい神戸ステーキやスイス生まれのフォンデュを心ゆくまで味わうのにぴったりのムード。お友達と、あるいはご家族連れで初夏のフックの味覚をお楽しみ下さい。

営業時間 午前10時から午後零時まで。



フック東店



こおべっ子

★神戸は夏の町だ。青い海と緑の山々に夏の強い陽ざしが映へレジャーに、スポーツにと若者の心をかきたてる。阪急西口にあるティールーム“こおべっ子”は潮の香をただよわせて小麦色に日焼けした健康的なサラリーマン、オフィスレディ、学生たちでいつもいっぱい。お店の前の西口広場は交通の便もいってあって絶好の待合せ場所。友達と、恋人と、そしてエトランゼとの待合せはいつも楽しい。そんな楽しいひとときのムードづくりをこおべっ子のかわいいママの順子さんたちがいつもおてつだいでくれます。心のこもった、安くておいしい軽食や飲みものが豊富に用意されていますので気軽に御利用下さい。

コーヒー¥ 100、ビール¥ 150、角水割¥ 150、カレー¥ 150、焼めし¥ 150、スパゲティ¥ 150

A.M.8:00~P.M.10:00 但し日曜日はP.M.6:00オープン

★太陽の陽ざしが一段と強くなり、夏の息吹を感じさせるさわやかな季節。生田新道農業会館向いに誕生した“スネカジリッ子”もこの6月10日で満2周年を迎える。お姉さんの後を引きついで弟の則吉君は昼間は学校に通い、夜はここでみんなのリーダーとして働くがんばり者。ゆったりとした落ち着いた空間に若くてダンディなバーテンさんたちのきびきびとした動作が大変フレッシュな感じを与える。五月には店内も改装され、一段ときれいになった。一度足をはこぶとすっかり魅了されてしまう不思議な店、と若い人から御年配の方までファンも多い。

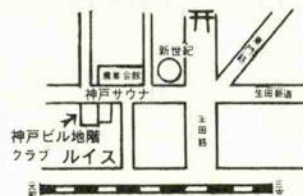
水割G&G ¥ 300円、ビール(小) ¥ 200円、おつまみ ¥ 100円
ピッツア ¥ 350円、ミニチュアピン(W) ¥ 500円

P.M.5:30~A.M.1:00 第1、第3月曜日休み



スネカジリッ子

ルイス



★さわやかな初夏の風がタヤみせるネオン街に吹きぬけていく。生田新道、神戸ビル地階にあるクラブ・ルイスは、デラックスなインテリアとムードあふれるスペースでハイモードのクラブの雰囲気を感じてくれる場所。柔らかなトーンのソファで、ホステスが注いでくれるグラスを傾けながらかわす会話があなたをつつみ、時間の経つのを忘れさせてしまう。神戸で初めてのハモンドオルガンが飲む人の心に音楽とリズムをよびおこしホステスとお客様とがひとつになって楽しめる場所、それはルイスだけのものです。こんな素晴らしい仲間にお入りになりませんか。

日曜・祭日は休ませていただきます。